

小泉中学校の教育相談・支援体制について

○生徒が安心して学校生活を送ることができるように努めます。

小泉中学校では、『主体性と共感性を磨き、自己肯定感を育む』ことに重点を置き、「誰もが過ごしやすい学校」をめざし、「互いの違いを認め合い、仲間を大切にする生徒」の姿に育つことを願って取り組んでいます。

○生徒の不安や悩みの早期発見、早期対応に努めます。

いろいろな立場から生徒に寄り添い、不安や悩みの解消に努めます。

◇早期発見・早期対応のために

学級では、学級担任が生徒の様子を見届けるとともに、「生活の記録」を通じて生徒とのつながりを確かなものにすることに努めます。また、学級担任以外の教科担任など多くの立場の教師が生徒の様子を見届けていきます。

その他に、生徒の不安や悩みの早期発見のために、「こころの健康調査・いじめ実態調査」を年4回、「ハイパーQ U」アンケートを1, 2年生は年2回、3年生は年1回行います。

◇校内教育支援室（ほほえみルーム）

教室や学校で活動することに難しさを感じている生徒の居場所として設置しました。

教室で学習することが不安だと感じている生徒が自分で計画を立てて自習に取り組んだり、リモート学習を受けたりすることができます。また、心を落ち着かせたり、不安や悩み事の相談をしたりすることもできます。

<常駐職員>

トライサポーター：小田、ほほえみ相談員：宮崎

◇スクールカウンセラー(SC)：滝口、田島

臨床心理士が専門的な知識や技能を生かしてカウンセリングを行います。本校には月に1回程度来校して、生徒と保護者の相談に応じます。

◇特別支援学級：長瀬、白鳥、青木

◇通級指導教室：大嶽

個に応じた学習や活動など教育支援をしています。また、困り感を克服するための支援をします。

◇スクール相談員(S相)：山田

生徒の相談に応じたり、普段の様子を観察したりします。

また、生徒が登校することに対して困難を感じるような場合、家庭訪問を行ったり相談に応じたりするなど、一人一人に応じた支援をします。

◇特別支援コーディネーター：曲直瀬（主幹教諭）

日常の学習や生活における困り感の相談窓口です。整理した情報を学校内で共有し、その対策を推進する中心的な役割を担います。必要に応じて外部の関係機関と連携を図るための調整役を担います。

◇スクールソーシャルワーカー(SSW)：水野

不登校、虐待、いじめ、貧困などに対して、福祉や医療などの関係機関と連携して、環境改善に取り組めます。

◇教育相談コーディネーター：加納（養護教諭）

心理的困り感の相談窓口です。SCやS相、SSWとの連携や、ほほえみルームにおける支援の調整役を担います。

★生徒や保護者の皆様が相談しやすいように、たくさんの窓口を用意しています。

お困りのことがあれば、まず、小泉中学校までお電話（Tel 0572-27-2620）してください。